

わかろうとせよ

とします。 とします。 とします。 とします。 ときに自分を表現しようを変えて、気持ちを表現しようなど)へ、ある子どもは反社がは像もできない悩みや課題へが想像もできない悩みや課題を持ち、自分なりに向かい合い、を持ち、自分なりに向かい合い、を持ち、自分なりに向かい合い、をでえて、気持ちを表現しようとします。 とします。 とします。

います。
いままを受け入れて針のもとに、悩みを持つ子どもわかろうとせよ」という基本方わかろうとせよ」という基本方をちの心を「治そうとするよりにちの心を「治そうとするよりになっている。

上りこうな寺でを習べて、「ミ上げられるようになりました。荒れる学校がニュースでも取り拒否という問題が社会問題となり、昭和50年代、校内暴力、登校

誕生しました。

「鶴山塾」が、昭和59年10月取り組む津山市教育相談センタのみなさんとともに教育活動にない」という発想のもと、市民題は学校だけが抱える問題では題ではあっていまりな時代を背景に、「まっていまりな時代を背景に、「まっていまりな時代を背景に、「まっていまりな時代を背景に、「まっていまりない。

鶴山塾だからできること

を身につけていくのです。 家でも学校でもない中間施設で、 家でも学校でもない中間が設定の は、自分で乗り越え、自分でを開き、悩みや不安を少しずつ を開き、悩みや不安を少しずつ は、自分で乗り越え、自分でまた は相談員に対して、次第に心な時間や空間の中で、子どもたな時間や空間の中で、子どもたるは相談員に対して、次第に心を身につけていくのです。



鶴山塾は20年を迎えました。前のことをあたり前に取り組んで、「ともに育つこと」「つなぐこら」だと考えています。あたりいと」だと考えています。あたりないではなく、「支えること」ものではなく、「支えること」



「とまり木」会員 竹内ちずかさん(林田)

鶴山塾ができて20年がたちました。 多くの子どもたちがここで羽を休め、 飛び立っていきました。子どもた ちが、塾には信じられる大人がい ると感じ、心を開いていく姿を見て いつも心を打たれていました。

ここで多くの人と出会い、人の 温かさにふれ、私自身が育ててい ただいたようで、振り返ると胸が いっぱいになります。

これからも巣立っていった多く の子どもたちの幸せを祈りながら、 いつまでも子どもたちや先生の応 援団でいられたらと思っています。

ポランティア「とまり木」の 会員を募集しています。詳し くは、鶴山塾へ

とともに ボランティア とまり木

状態でした。 手探りの状態で始まった当初は、 ながら走り、走りながら考える 必死に子どもにかかわり、考え ちの幸せを願う多くの人たちと と当事者だけでなく、子どもた 体となって取り組んできました。 ボランティアとしてのかかわ 鶴山塾は開塾当時から、行政

もまたともに歩んできました。 り方は一人ひとり違いますが、 き理解者として、「とまり木」 などを通して、子どもたちのよ 食事作り、学習指導、農園作業

せは、 回 22 鶴山塾への相談・お問い合わ 事前に電話をしてください 2523へどうぞ

教育相談 家庭や学校での諸問

題(学習・進路・生活・対人

鶴山塾のおもな活動

通塾支援 小・中学生に対し、 特別相談 精神科医、大学の先 門的相談を行います 生や学識経験者などによる専 問によるかかわりも持ちます います。必要に応じて家庭訪 体験活動や学習活動などを行 通塾による支援の中で、生活 談・面談相談を行います 関係など) についての電話相

講演会開催年1回、市民のみ なさんを対象に開催していま

相談日時 月~金曜日午前8 時30分~午後5時(無料) 秘密は厳守します。 できれば

生きていくうえでのたくましさ ごしていたときとは同じではない。 成長している。決してここで過 ともある。でも、確実にみんな つかってしんどそうに見えるこ とも表情も違う。新しい壁にぶ って子どもたちの感じているこ 告であったり…、そのときによ 悩みを抱えていたり、近況報

っているなと感じる瞬間である。 が、今現在かかわっている子ど たちに、エネルギーと刺激を運 もたちに、そして大人である私 んでくれている。 みんなつなが このような子どもたちの成長 ~ 相談員の手記から

子どもたちの成長を見守って

「楽しくて仕方ない」など、たま るなと感じる子もいる。 場所で出会った友だちにはまだ ぶりに塾の仲間に会い、新しい だろう」「腹の立つやつがいる」 ときは、学校に行けなかったん おけばよかった」「どうしてあの 今日は、珍しく大勢集まった。 ちがたまに顔をのぞかせてくれる んなかには、疲れが出てきてい しているように感じた。 もちろ 言えないことを、おたがいに話 に会うと話題は尽きない。 「中学のときもっと勉強をして 塾を卒業していった子どもた 久し

を感じさせてくれる。

参加費 内容「とまり木」の20年間の活動報 分科会 動のあり方を研究 告や、これからのボランティア活 無料(記念講演のみ託児あ 午後1時10分~4時10分

り・予約要)

申込方法 電話、ファクスまたは郵 送で申し込む (申込用紙は鶴山塾 ロビーなどに配備) 公民館、市立図書館、 市役所1階

鶴山塾開塾20周年記念研究大会

いま、私たちに できること」

とき 8月19日 (木)午前9時 教育相談活動から の

ところ 津山文化センター 時~) 分~午後4時30分(受付=午前9

記念講演 午前10時~正午 講師 山下英三郎さん 演題 子どもたちとの (日本で唯一のスクール 真の出会いを求めて ソーシャルワーカー)

締め切り 6月30日(水)

申込先 〒708 0022津山市 山下87津山市教育相談センター「鶴 山塾 皿 22 8329